

僕にとってピアノとは、今の自分を形作ってくれた存在です。ピアノは心もそして自分の人生も豊かにしてくれるものだと思っています。

僕がピアノに出会ったのは4歳のときです。始めたきっかけは、母に勧められたから だそうです。というのも、ピアノを習った経緯をあまり覚えておらず、気づいたらピアノ教室にいました。きっかけはともあれ、ピアノを弾くことは小さい頃から好きで、今も変わりません。

僕がピアノをやり続けている理由は、純粋にピアノを弾くことが楽しいからです。ピアノを弾くことが練習だと感じたことは一度もありません。楽しむことがピアノを上達させてくれる最善の方法だと僕は思います。楽しみながら成長を実感できる、これがピアノの素晴らしいところです。

基本、ピアノは好きな時に好きな曲を好きなだけ弾いています。必ずしもその週の宿題の曲である必要はありません。(といっても、僕はレッスンを受けている曲が好きな曲です) 先生から指導を受けたところは、できなくてもしよと。これが大切だと思います。たまに、アドバイスを受けたところを思い出して、ふと我に返ることがありますが、”次こそは”と切り替えるようにしています。僕なんかは同じ曲を1年以上見てもらうので、その繰り返しです。

中学生のとき、僕は吹奏楽部に所属していたので、学校でも家でも音楽に触れていました。部活はいくら楽しいといっても、多少の疲れはでます。そういう場合は、家に帰っても無理に勉強勉強と詰め込まず、のんびり過ごしていました。ピアノはいつ弾いていたのかと といいますと、勉強の合間などのスキマ時間や休日の昼間です。具体的に言うと、夕食前と夕食後、お風呂の前、休日はお昼前と3時頃もしていました。今思うとかなりの時間をピアノに費やしていたと思います。ピアノを弾いていれば”手伝って”と言われることもなかったのも、ある意味逃げ道にも なりました。

高校受験のとき、ピアノは心の大きな支えでした。塾や模試が新たに加わったり、単純に勉強時間が増えたりしたせいで、ピアノの時間は減ってしまいました。ですが、勉強の気分転換として”ピアノ”があったのは本当に良かったです。ピアノは頭にも良い効果をもたらしてくれるので、弾いていて楽しいのはもちろん、自分にとって有意義な時間だと思えました。勉強よりもピアノに触れる時間の方が 多い日もありました。とはいっても、やるべきことはやった結果、第一志望の高校に合格することができました。

高校生になった今、ピアノを続けてきて良かったと改めて感じます。第一志望の高校まで 導いてくれたこと、友達をつくるきっかけになってくれたこと、音

楽の楽しさを感じさせてくれたこと、長年のピアノの積み重ねが、僕の集中力を鍛えてくれたとも言えます。高校生になってピアノを弾く時間は激減してしまいました。時間を気にせず、ピアノを弾けることがどれほど良いことか今になって感じます。ですが、1週間の中でまったく弾けないわけではありません。その限られた時間の中で、ピアノを弾くのが現在の僕の楽しみ方です。短い時間の中にストーリー性がギュッと詰め込まれているので、音楽を楽しめる最高の時間だと僕は思います。時間が経つにつれ、ピアノと僕の関わり方は変化し続けるとは思いますが、これからもずっとピアノを弾き続けたいです。

土浦一高1年 Y.M